

M. U.（音楽学科・2 年次生）

I. 留学レポート

私が留学を決めたきっかけは、海外にとっても興味があった事と自分の将来を考えた時に、どの仕事についてとしても英語はかなり必要になってくると思い、もっと英語力を伸ばす必要があると考えたからです。留学を考え始めた時期は 1 回生の夏休み前の 7 月頃です。留学が決定してから出発までの期間は英単語帳を繰り返し見直したり、英語の問題集を解いたりしていました。ビザの申請については、専門の業者通して手続きをしてもらい大阪にあるアメリカ大使館に面接に行きました。

現地に着くと、PIA の職員の方が空港で待っていてくださるので、ホームステイ先までは職員の方が送ってってくれます。オリエンテーションでは簡単な英語のゲームや手続きやテストを受けたりします。勿論すべて英語での説明ですがとても配慮して話してくさるので、聞き取りやすいです。PIA の施設はとても綺麗で快適です。周りにも多くの自然があり勉強するにはぴったりの環境だと思います。スタッフの方々はとても気さくな方ばかりで、よく話しかけてきてくれるし、スタッフの中には数名日本人のスタッフの方があるので、どうしても英語で言えないようなことなども、親身になって相談に答えてくれます。授業内容は、特に発展的なようなものではなく基礎からのやり直しが中心ですが、基礎を固めたりとてもよかったと思います。また、先生方の授業もとても分かりやすく説明してくださり、分からないところがあればその場ですぐに質問もできるので、よく理解して授業に参加することができます。課題は先生によって量はバラバラですが、基本的には毎日あり放課後などは図書館に残って勉強している人が多く見かけられます。試験については、中間と期末のように 1 学期のうちに 2 回大きなテストがあるのですが、毎週小テストやる先生も多くいらっしゃいます。日本のようなクラブは PIA にはないのですが、毎週アクティビティーがありそれにはだれでも参加することは可能ですが、人数制限といくらお金も払わないといけません。私は 1 回ボランティア活動をやりましたが、それは自分たちでネットから探してきてコンタクトをとるか、PIA のスタッフの方に相談すると探してくれたりもします。

現地ではホームステイをしており、私の家ではそれぞれに部屋があたえられ、シャワーや洗面台などはルームメイトと共同で使い、食べたいものは冷蔵庫から自由に出して食べたりしていました。食事内容などについては、あまり手の込んだものは出ず、同じようなものをローテーションで食べるといった感じでした。基本は夜ご飯だけホストマザーが作ってくれ、朝と昼は各自で作って食べていました。私の家は学校からそんなに離れておらず、

最寄りのバス停までは歩いて約 10 分、そこからバスに乗って約 5 分ほどでしたが、ほぼ毎朝ホストマザーが車で送ってくれていました。長期休暇中には宿題などは一切ないので、大学の研究を進めたり、友達と出かけたり、旅行などもしました。

II. 留学の感想

留学中で楽しかったことは、いろんな国の友達ができて、一緒に遊びに出かけてそれぞれの国の文化を共有したり英語の勉強にもとてもなるので、すごく良かったと思います。また授業も日本とはスタイルが違うので、最初は少し戸惑い慣れないこともありましたが、私にはとても合っていると思い毎日楽しく授業を受けていました。一方で、大変なことも多くありました。私はホームステイだったので、韓国人のルームメイトがいたのですが、そこでの文化の違いで困ったことも多くありました。まず、マイペースで時間を気にしない人が多いので、約束をしても 1 時間以上遅れてきたり、私のルームメイトは夜ご飯に帰ってくるのがほとんどなかったなので、お昼のお弁当の用意や後片づけなど、毎日大変でした。文化の違いで最も驚いたのはサウジアラビアの人々の文化の違いです。私の留学期間中にラマダンの時期が重なっていたのと、短期の留学生がイスラム教だったのでいろいろ話を聞くことが出来、どうしてラマダンをするのかなどしきたりなども教えてもらい、とても為になる話が聞けました。

III. 留学希望者へのアドバイス

留学で持って行った方がいいと思う物は、一番にパソコンです。留学中は毎月マンスリーレポートを書かないといけないし、PIA の授業でのテストでパワーポイントを作ることがあるので、自分のパソコンは絶対に持っていくべきだと思います。また、休日の暇な時間にはパソコンで YouTube を見たり Skype などのできるもので、私はよく活用していました。次に、レトルトの日本食は持って行った方がよいと思います。最初の頃は日本食が食べなくなるし、ポートランドにも日本食スーパーはあるのですが、バスで約 1 時間 30 分かかるし値段も日本よりかなり高いので、日本食を持っていくことをお勧めします。私がよく使っていたのは、日本の調味料でした。よく自炊をしたりしていたので調味料は絶対必要だったのですが、食材は近くのスーパーでも買えるのですが日本の調味料は全然売ってないので、自炊しようと思っている人は持って行った方がよいと思います。語学力の向上については、リスニングの能力がとても上がったと思うし、スピーキングの能力も日常でよく使う言葉などは考えずに話すことができるようになりました。日本に帰ってきてテレビを見ているときに外国の方が英語で話しているのを聞いても、だいたい理解できるように

なりました。留学に行くまでは期待より不安の方が多いと思いますが、行って損することは絶対にないです。英語力は勿論の事、その他違う国の人々との共同生活の中で相手の事を深く理解することや、自分の事は自分で全てきっちりするなど、私は今回の留学で英語だけではなく、人間として一回り成長できたと思います。アメリカに着いて最初の1か月程は慣れず大変なことの多いのですが、慣れると楽しんで生活出来るようになるし、徐々に英語が出来るようになってくると友達関係やホストファミリーとの関係も良くなり本当に楽しいです。多くの人にこの経験をしてほしいです。

IV. 将来の目標

将来の夢は音楽会社に就職してライブなどを企画したいと思っています。その時に海外のミュージシャンなども招きたいと考えているので、今回語学留学をしました。そのために、就職するまでに TOEIC で 800 点以上をとる事を目標としています。



私がお世話になったホストマザーと韓国人のルームメイトと帰国日に家の前にて



PIA の最後のテストが終わった後に友達と

N. F.（社会システム学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私が留学を目指した理由は複数あります。まず一つ目は、将来の夢に向けての英語力の向上のためです。日常生活では話す機会がないのでスピーキングやリスニング能力が全然ありませんでした。しかし、旅行会社に就いて仕事をしていくには話せる英語が必要なので留学に行きたいと思うようになりました。私は今まで海外に行ったことがありませんでした。他には、海外に行ってみたいという好奇心と他国の人々の暮らしや文化を肌で体感したいと思ったからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後には事前授業があり、国際交流センターのスタッフの方々が留学に関することについての説明をしてくださりました。最後の事前授業には TOEIC のテストを受けました。わからないことがあればスタッフの方々が丁寧に対応してくれたので助かりました。留学に行くということで日常会話の本を買って「レストランに行った場合」、「道に迷った場合」など実際に起こり得るようなシチュエーションの表現を確認しました。日本語字幕をつけて洋画をよく見ていました。毎日リスニングを 5 ページほど聞くことを続けて耳を慣らしていました。アメリカビザ申請は業者の方に頼んだのでお金が余分にかかりましたが、そのおかげでビザをすんなりとることができたのでよかったです。

③ 現地到着後

ハウジングコーディネーターの人が空港で待っていてくれました。そして、ホームステイ先まで送ってくださいました。時差ボケと緊張でしんどくてすぐに眠りにつきました。ホストファミリーが温かく迎え入れてくださったので安心できました。

④ 語学研修機関

私はメルルハースト大学が付属している PIA という語学学校に行きました。メルルハースト大学は他の大学に比べて小さいですが、キャンパスがとてもきれいで中央にある噴水がお洒落だと思いました。自然豊かな場所なので落ち着きました。日本ではあまり見かけませんが、学校にはリスが沢山いました。スタッフの面では、どの先生も生徒のことを気遣っている様子がうかがえました。しかも PIA には日本人のスタッフが二人いたので困ったときは助けてもらいました。優しくサポートしてくださったのでとても感謝しています。学校が始まった初日とその次の日にクラス分けのテストとオリエンテーションを行いました。月曜日と水曜日は Grammar と Reading の授業を受け、火曜日と木曜日には Writing

と Listening & Speaking の授業を受けました。金曜日は休日ですが、よくアクティビティが行われていたのでそれによく参加していました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブには入っていませんでしたが、小学校に行って日本語を教えるサポートをする Japan on the Road というボランティアのコミュニティーに一度参加しました。インターネットを使って自分でボランティア活動をしらべ、PIA のスタッフに尋ね連絡をとってもらい参加することができました。アメリカの小学校の授業スタイルも学べて面白かったです。留学中ずっと参加したかったのですが、アメリカの小学校は 6 月から夏休みに入ってしまうため一度しかいけなかったことが残念でした。

⑥ 現地での住まいについて

現地ではホームステイをして暮らしていました。お母さん、お父さん、息子、台湾人のルームメイトと一緒に生活をしました。洗濯は週末だけでしたが、シャワーの時間は決められていなかったのがよかったです。朝と昼ごはんは yourself で夜ご飯はホストマザーが作ってくれました。ディナーが不要な日は事前に伝えるという決まりがありました。私の家にはマザーの友達や親戚などたくさんの人がよく遊びに来ていました。賑やかで楽しかったのですが、人見知りの私には毎回すごく緊張していました。しかし、どの方も優しく接してくださったので助かりました。この家に行ったことでいろんな人と関わることもできたのですごく感謝しています。ルームメイトにわからないところの宿題のサポートやプレゼンテーションのチェックなどをよくしてもらっていました。ルームメイトは本当に優しく、話しやすく、そして、わからないところも丁寧に教えてくれるのでとても嬉しかったです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇には友達とラスベガスとカリフォルニアディズニーランドに行ってきました。とてもいい思い出になりました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

授業、生活スタイルなどアメリカにいた頃は当たり前だった日々が今ではとても懐かしく思え、そのような貴重な体験が全部楽しかった思い出に変わっていきました。大人数で遊ぶ約束をしてバスに乗ってダウンタウンに行き、ご飯を食べ、ボーリングをしたことや、ショッピングセンターにいったことなど、待ち合わせや企画は大変でしたが言語が違ってもととても楽しむことができました。独立記念日には water front というダウンタウン付近の

場所で花火をみました。とてもきれいでした。アメリカの食べ物や飲み物は日本に比べて量がおおく、オレンジジュースやミルクの容器が紙パックではなくタンクに入っているのも最初はかなり衝撃を受けました。量に対して値段はかなり安いと思います。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

授業はレベル別にわかれていました。クラスメイトは私と同じ時期に入った人だけではないので周りの発言力やリスニング力に驚き、精神的にやられました。1 コマ 2 時間半の英語の授業をずっと聞くのは大変でした。自分のリスニング力やスピーキング力のなさに何度も落ち込んだことは忘れません。授業後は宿題を出されるので放課後は図書館に行って勉強するというスタイルが当たり前でした。ホストファミリー、他国の友達と会話をする時に自分の言いたいことがうまく言えずにもどかしい思いをした思い出が何度もあります。そのたびに悔しくなりもっと勉強しよう。英語を話そうと思うようになりました。他にも食について苦しみました。パンより米派の私には 3 食主食がパンということがつらかったです。オレゴン州には日本食のレストランやスーパーもありますが、日本で買うより高いのでたまに行くぐらいでした。ピザやパスタ、ハンバーガーをよく食べていたので今まで食べたことのないくらい的小麦粉を摂取したと思います。体重も以前より太りました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本人は基本夜にシャワーをするのでアメリカ人はシャワーを朝にすることに驚きました。他にも宗教の信仰度合について驚きました。サウジアラビア人は信仰心強く、毎日決まった時間帯にお祈りをしていて、6 月後半から約 1 か月間ラマダンを行っていました。日中は食べ物を食べることができず、なお飲み物も飲むことができません。ラマダンにはとても驚きました。ランチタイムや休憩時間の時に食べたり飲んだりすることに抵抗を感じました。日本人と違って外国の人は時間にルーズだと思いました。友達やルームメイトが集合時間に来ず、90 分ほど待ったのも今となっては懐かしく思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

ノートパソコン、薬、洗濯ネット、化粧品、化粧水、電子辞書、クレジットカード、日本食です。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

私は初め日常会話を話すことが全くできませんでした。したがって、ホストファミリーと会話することが困難でした。授業中も何言っているか理解できない時が多かったです。

Speaking の授業では 2 人ペアになって話し、グループになってディスカッションなどを行っていました。話すのが苦手な私には苦痛でした。しかし、その経験のおかげでだんだんしゃべれるようになり、ホストファミリーにも会話力が以前よりも伸びていると言われ自分の英語力の伸びがわかってきました。Writing の授業を受けたおかげで、英文の構成の仕方がよくわかりました。辞書を使わずに自分で言いたいことを表現できるようになりました。留学前に比べて Listening 力が一番伸びたと思います。先生、店員さん、ホストファミリーの言っていることが理解できるようになりました。毎日英語を聞いて話す努力をすることってこんなに大切なことだと痛感しました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に興味がある人、行こうかどうか悩んでいる人にはぜひ留学に行ってほしいです。留学をするという経験は大学時代までにしかなかなかできないと思います。悩んだ結果、やめるという選択肢にすると後で後悔してしまうときがくるかもしれません。他国に行って生活することでその国の文化、生活習慣、だけではなく、その友達やその国の文化を学ぶことができ自分で体験しないとわからないことや英語力だけではない貴重な経験をすることができると思います。楽しかったことと大変だったことを比較したら大変だったことのほうが多かったです。その経験のおかげで人間的にもとても成長できたと感じました。この経験は二度と忘れないと思います。半年間は長いようで短いです。留学に行く方は目標を決めて一日一日を有意義に過ごしてください。Good luck!



ボーリングが終わったあと写真を撮りました



Summer term の最終日にとりました♪

R. S.（社会システム学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

まず、私が留学を目指したきっかけは高校生の時に行った 2 週間のオーストラリアでの短期の海外研修でした。その時の留学もホームステイでとても楽しかったのですが 2 週間だけだったのもっと話せるようになりたいし、英語圏の国の文化や生活を経験したいという気持ちになりました。海外旅行も大好きで、外国の文化にも興味がありました。大学に入学する前から留学したいなとうっすら考えていたのですが、はっきり決めたのは 1 回生の冬ぐらいでした。友達も留学に興味があったので、一緒に説明会にも参加していましたが、その友達は留学に参加しない事になって心細かったし、サークルの活動もあったのでとても悩みましたが、英語を自分でつかえるようになりたかったので、セメスター留学に参加する事に決めました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学までに行った学習は、国際交流センターから出される課題に従って、自分の留学先のオレゴン州ポートランドについて調べたり日本について軽く調べたぐらいでした。でも、留学先に行ってからこれらの事が本当に大切だったんだなと思ったので、“軽く”ではなく“しっかり”した方が良かったのかなと思いました。ビザの申請手続きについては、私は業者の方には頼まず自分で行ったのですが、業者の方に頼む事を私はおすすめします。出来ない事ではないのですが、自分で必要書類は何かを全部調べて揃えないといけなくて、インターネットで何ページも入力をしていないといけなかったり、友達の連絡先の入力が必要だったりとにかく面倒くさかったです。

③ 現地到着後

私は関西国際空港からサンフランシスコを経由してポートランドに行きました。現地に着いてからは、PIA のスタッフの方が迎えに来てくれていてホームステイ先まで送ってもらいました。週末はドイツ人のルームメイトにショッピングモールに連れて行ってもらったり、同女から一緒にこの留学のプログラムに参加していた 2 人と一緒にダウンタウンに行ったり、同じ時期に来た韓国人のルームメイトと家の近くを散歩したりしていました。オリエンテーションは初日とその次の日もあって、クラスのレベルを決めるプレイスメントテストを受けたり携帯が必要な人は買ったりしました。でも私は個人的にはいらなかったです。スマートフォンではないのでテキストと電話しかできなくて、初回は\$60 で翌月からは\$25 なのですが、ダウンタウンなどにある携帯会社でプリペイドのスマートフォンを買う

と本体は\$40 ぐらいで月\$45 でデータも使えるので、外でバスの時間を調べたり迷ったらマップも使えるので便利だと思いました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

学校にはブックストア・カフェテリア・ライブラリーがあって、アクアクララみたいな、水とお湯がでるやつがいっぱいあって、ちょこちょこスチューデントラウンジにケーキやクッキーなどのスナックを置いてくれていました。なので、何かと不自由する事もなかったです。環境はとても自然に恵まれている感じでした。たまに野生の鹿が見られたり、いっぱいリスがいたりキレイなところでした。3、40分バスに乗ればダウントウンに行けたりショッピングモールに行けたりするので、すぐ都会にも出られました。ショッピングモールも4つぐらいあるので、楽しかったです。PIAのスタッフのみなさんはとてもフレンドリーで、たくさん話しかけてくれたりどんな小さい質問も快く答えてくれました。日本人のスタッフの方も二人いましたが、ほぼ日本語ははなしてくれません。その日本人のスタッフの方もとても優しく、わからない事があればすぐに調べてくださったり教えてくださいました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は月曜日から木曜日までの週4日で、reading / grammar / writing / listening&speakingの4種類を一日に2種類づつ受けました。担当の先生によって多少違いはありますが、readingの授業では教科書や先生が用意してくれた物語や記事を読んだり、たまに記事を自分で探してその記事についてのプレゼンテーションもしました。Grammarではgrammarの教科書を使いながら、今までは気にした事も無かった微妙な使い方の違いや今まではっきりしなかった違いを学びました。Writingではまず先生から書き方などを教わって、自分でエッセイを書いたりしました。先生が一人一人のエッセイを見てくれて、間違いを訂正してくれたり教えてくれた後、その訂正した文章をまた書き直して提出していました。Listening&speakingの授業は主にプレゼンテーションでした。私の担当の先生だけかもしれませんが毎週プレゼンテーションがあって大変でした。しかしグループで取り組むものもあって、楽しかったです。後は毎週単語の小テストのゲームをしたりもしました。試験は1セメスターで長期休暇前のミッドタームと最後のファイナルのテストがありました。このテストでレベルアップできるか出来ないかがかかっていました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

週末にはPIAのスタッフの方たちがアクティビティに連れて行ってくれたり、アクティビ

ティで PIA の皆とシアトルに旅行に行って、野球を観戦したりしました。ルームメイトや友達ともショッピングに行ったり映画を見に行ったり、有名なレストランやカフェを探したり聞いたりして行っていました。ルームメイトのサービスマーケティングのボランティア先で出会ったアメリカ人のお家に行ったり、自分のステイ先で韓国のご飯と日本のご飯を作ってホストマザーと一緒に食べたり、友達やルームメイトと Crater Lake や Diamond Lake などにホテルに一泊して行ったりもしました。帰国前には今カナダに留学している高校生などの友達と Hollywood や Santa Monica や California のディズニーランドに行きました。

⑥ 現地での住まいについて

私はホームステイをしていました。ホストファミリーはホストマザーが一人と小さい犬が一匹だけでした。ルームメイトはドイツ人と韓国人のふたりでした。朝とお昼は基本的に韓国人のルームメイトと一緒に作ったりたまにひとりで用意していました。夜はホストマザーが作ってくれます。よるご飯の残りをランチに持って行く事が多かったです。家から学校まではバスで 10 分から 15 分ほどでした。私のステイしていた Lake Oswego からは無料で学校までいってくれるスクールバスのようなものがあつたのでそれに乗っていました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

私は長期休暇では旅行に行きませんでした。ルームメイトや友達とホームパーティをしたり、カヤックをしに行ったり、ダウンタウンに遊びに行ったりしていました。後はライブラリーに勉強をしに行ったり、フェスティバルを見に行ったり、オレゴンを楽しみました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中で楽しかった事は、色々な国の人と出かけたり家で遊んだり、毎日放課後皆でライブラリーに残って宿題をしたことです。皆とジョークを言い合ったりたまにけんかもしたりしたことが自分の中でとても楽しくて思い出に残っています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

辛かった事は、リスニング&スピーキングのクラスで前半のスプリングタームでは外国の男の人の中に日本人の女子ひとりの中で、後半のサマータームでは日本人ひとりのクラスでプレゼンテーションが頻繁にあったことです。苦勞した事は毎日の宿題とプレゼンテーションです。あと仲の良かった友達やルームメイトが帰国する時や自分が帰国するとき友達とお別れするときがとにかく辛かったです。いまでも辛いです。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

韓国人は女の子同士でのスキンシップが多かったなと思いました。PIA にはイスラム教

の人がいっぱいいて、イスラム教徒の友達もたくさんできたのですが、本当にラマダンがあつたり高校生の時とかに教科書で勉強していたことが現実でもあるのだなと思って最初はすごく新鮮でした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン・薬 ぐらいで、服も何でも買えました。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は自分ではあまりよく分らないですが、PIA のスタッフのひとに言われたり、だんだん普通に会話出来ていっていたような気がします。会話をする力は確実に以前よりはましになったと思います。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

迷っているなら行った方が良いと思います。あと、向こうに行ったら、できるだけ日本人じゃないひとといると良いと思います^_^



ルームメイトのバースデイパーティにて



PIA の cultural day



PIA の友達との crater lake に旅行にて